

第 31 号

平成17年1月20日発行



REPORT

JAPAN SPORTING GOODS RETAILER

編集：日本スポーツ用品協同組合連合会

日本スポーツ用品協同組合連合会

発行：日本スポーツ用品協同組合連合会

〈2004/8~2005/7のスローガン〉

何かある！「努力で活かそう地域の特性」



年頭のご挨拶

日本スポーツ用品協同組合連合会
理事長 辻本昌孝

JSRは、昨年の京都大会をもって法人化して以来6年という、第二ステージに入りました。これまでも意欲を持って努力して参りましたが、今振り返って見ますと試行錯誤の域であったように思います。そして、第2ステージに入りようやく私達が取り組まねばならない課題が徐々に明確になって来たように思います。

役員人事も一部変更になりました。新しく理事として、矢野孝太郎氏（兵庫）、尾坂眞人氏（鳥取）、武宮兼敏氏（福岡）、澤田基朗氏（岐阜）、重森仁氏（滋賀）に加わって頂き、色々な事業にチャレンジしていきたいと思っております。

4人の副理事長さんには4つの委員長になって頂き、まず、小関副理事長には「交流委員長」として、JSRレポート、国際交流、環境問題に加え三層交流、他団体との交流、無償提供問題、直売問題、ファクトリーアウトレットなど多岐に渡った問題を担当頂きます。

清水副理事長には「事業委員長」として、ラインパウダー「無害君」の事業、ショッピングバッグ事業、「体育の日」活性化事業、JSECの事業を担当して頂きます。

竹原（新）副理事長には「活性化委員長」として、新しい分野ですが専門店化対策、会員増強問題を担当して頂きます。

門田（新）副理事長には「教育・情報委員長」としてJSR-POSレジ、ホームページの開設、総合型地域スポーツ、ブロックスポーツ大会推進を担当して頂きます。

岩満専務理事には、総務的な立場から、理事会運営、toto、JSRの会計などを担当して頂きます。

以上のように盛り沢山の事業を理事全員が、力を合わせ、事業を推進して参りますので、宜しくお願い申し上げます。

今年も例年のように1月6日10時半より大阪で、全運団連主催の新年報道関係者懇談会が開催され、全運団連名誉会長鬼塚喜八郎氏初めJASPO、全日本卸、ゴルフ協、輸入協、そしてJSR5団体の長が参加して記者会見が行われました。

その中で鬼塚名誉会長は、日本の家庭における親子の関係、ゲーム感覚の殺人行為などモラルの低下を嘆かれ、昨今の猛暑や大型台風、新潟中越地震などの自然災害は自然の神の怒りではなかろうかと申され最近の日本人の魂のようなものに警鈴を鳴らされ、酉年は「変革の年」として、教育面の改革を訴えられました。

そして、JASPOの新会長民秋史也氏がお話なさった事を報告させていただきます。

私達のスポーツ業界は常に拡大方向にあると言われました。

例えばキッズマーケットは一つのマーケットとして確立し、ヤング・ウイメンズ、ミセス・ウイメンズのマーケット、熟年の方のマーケット、毎日サンデーの方のマーケット、デイケアのマーケットとしてそれぞれが確立したとの事です。

スポーツ業界の多くの方々は純スポーツのマーケットにのみ意識がいつているから、少子化の波をもろにかぶっているのではなかろうかとお話になり、柔軟な視野を持ち、拡大傾向にあるスポーツ業界で夢を持ち、明るくやっというご提案でした。



新潟県の皆様、被災を
された皆様、スポーツ
業界の皆が心から応援
しております。頑張ってください。

新潟地震

地震のニュースの後で、新潟県の伊藤章理事長に何度か電話を入れましたが、通話を通じなく、連絡が取れたのが25日（月）の事でした。JSRとして何をしたら良いのか考えましたが、まず神戸の時のように対策本部を設置していただき、JSRの事務局から、46都道府県の理事長さん、卸さん、及びメーカーの本支店さん、業界紙の皆様義援金のお願いを致しました。

お陰をもちまして、組合員の皆様をはじめ多くの方々から沢山の義援金を頂き本当にありがとうございます。心から御礼申し上げます。

また、新潟県伊藤理事長さん初め役員の皆様には、年末の忙しい時期に会議を開き、12月28日という年末ギリギリの時にお見舞いに廻って頂けた事はどんなにか感動と元気をお届けできたことでしょう。これがスポーツ業界の同業者としての仲間意識、JSRとしての力強いつながりとして感じられましてどんなに嬉しく思ったか分かりません。

今後も、国体、総体、全中大会の開催組合に措かれましても引き続き、ご配慮頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

義援金のお振込み郵便貯金口座

記号：11250 番号：31850761
宛名：新潟県スポーツ用品専門店組合地震対策本部

スポーツ券は発券停止になりましたが、
スポーツ券は有効です。

スポーツ券が昨年の春から、発券が中止になり、組合員の皆さんには大変ご迷惑をおかけしております。

スポーツ券の発券は中止いたしました。販売済スポーツ券の未回収券につきましては永久に有効であります。スポーツ券の取扱店のお店におかれましては、スポーツ券持参のお客様には以前と同様に商品を販売して頂きますようお願い申し上げます。回収されましたスポーツ券は以前と同じ様に貴店の契約取扱いの間屋さんに廻してください。市場には11億5千万円位スポーツ券が未回収券として出回っております。早い回収にご協力のほどお願い申し上げます。



大沢親分の日本プロ野球
OBクラブ主催の「全国
アマチュア野球指導者講習
会」がブロック内持ち回り
で開催されております。

この講習会はスポーツ店が野球の専門店として、地域スポーツの核となるための、必須科目ではないかと思えます。ご希望の方はJSR事務局（fax.03-3865-7704）へ、「受講申込み資料」を要求してください。開催地区別の申込み用紙となっていますので、希望の地区をはっきり記載してください。

JSR事務局から届きました「受講申込書」に参加者名など記載の上、日本プロ野球OBクラブ・事務局へ直接申し込みください。請求書など送って参ります。

●日本プロ野球OBクラブ・事務局 担当 木島織江さん
tel.03-3238-8955 fax.03-3238-2901

「全国アマチュア野球指導者講習会」開催概要

〔協 賛〕ゼット(株)

〔協 力〕JSR、全日本アマチュア野球連盟

〔受講者〕アマチュア野球指導者（高野連含む）

〔受講料〕5,000円／1人（教材費、昼食弁当代）

〔開催時間〕全会場とも10：00～16：00

開催地①：北海道 北海道日本ハムファイターズ・室内練習場（札幌市）

開 催 日：2005年2月19日（土）

開催地②：東北 山形県野球場（山形市）

開 催 日：2005年1月23日（日）【募集締め切り】

開催地③：関東 千葉ロッテマリーンズ・室内練習場（さいたま市）

開 催 日：2005年2月20日（日）

開催地④：北信越 福井工業大学・室内練習場（福井市）

開 催 日：2005年2月20日（日）

開催地⑤：東海 トヨタスポーツセンター・室内練習場（豊田市）

開 催 日：2005年1月30日（日）【募集締め切り】

開催地⑥：近畿 タイガースデン・室内練習場（西宮市）

開 催 日：2005年2月12日（土）

開催地⑦：中四国 出雲ドーム（出雲市）

開 催 日：2005年2月13日（日）

開催地⑧：九州 新日鉄大分・明野野球場（大分市）

開 催 日：2005年3月6日（日）

第6回 JSR・定時総会・日光大会のお知らせ

式典の部・開催予定日：平成17年9月14日（水）

47都道府県の各組合の役員は当然、卸・メーカーの役員の方もJSR・日光大会にご参加頂きますので、展示会は13日～15日をお避け頂きますようお願い致します。

「体育の日」 ボールと共に健康を贈ろう！

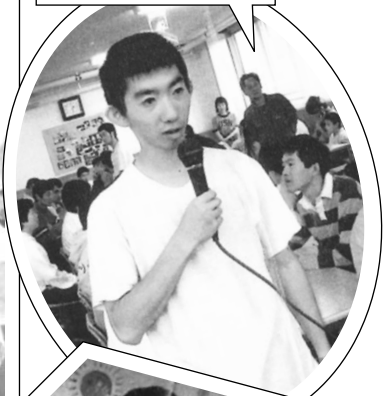
標題の呼びかけと共に、近畿ブロックから吹いてきた風は、「体育の日」に、児童養護施設にボールを贈ろうという事業です。JSRとして昨年の体育の日に向けて全国で100箇所以上の児童養護施設にボールを贈ろうという事業を行いました。この事業に参加いただけた組合は47

組合の内36組合でしたが、当初の予定を上回った110箇所の児童養護施設にボールを贈る事が出来、ありがとうございました。各組合さんからは児童養護施設の皆さんが大変喜んでくださったと、地域の新聞にも写真つきで紹介された旨、報告を頂きました。本当にありがとうございました。

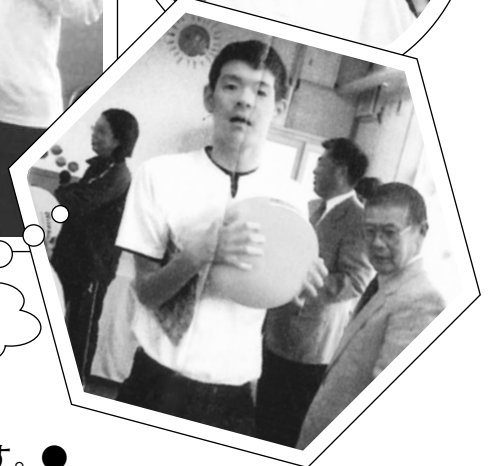


児童養護施設・若竹学園（秋田市）
ボール贈呈式 平成16年10月4日

JSRのおじさん
ありがとう



ワイ



●贈呈式の看板は施設の皆さんが作って用意して下さったものです。●

JSR-PL保険のお勧め

製造物責任（PL）法の成立以来、社会一般の権利意識の高揚、消費者運動の高まりにより、企業はより安全な商品の提供を求められています。

自信を持って販売した商品も、思いがけない形で賠償責任の矢面に立たされる時代です。

安心して商売をして頂く為に、あいおい損保とJSRによって設定されましたこの保険は、大変お値打ちに設定されています。

金融庁の監査により、以前のような組合単位の団体一括契約が出来なくなり、個々の年商額による契約をしなければならなくなりました。

安価にする為、スポーツ店の販売する「器具」、「ウェア」、「シューズ」の内、「ウェア」に関

してはメーカーの製造物責任で対応し、小売店の民法上の責任を「器具」、「シューズ」に限る事と致しました。

JSR-団体PL保険は、平成16年12月1日から1年間の契約となっております。まだ未契約の組合員の皆様は月割計算で契約が出来ますので、ご検討下さい。

《お問合せ窓口》 あいおい損保㈱代理店

(有)ティ・エス・エム 担当：高辻

名古屋市名東区藤森2-280-107

tel.090-7437-5016 fax.052-760-2121

(非通知拒否設定の為、番号通知でお電話して下さい。)

事業委員会



委員長 清水 誠一

JSR第6期事業年度活動方針として、よりきめ細かく活動するために副理事長が委員長となり事業の推進を図ることとなった。その一つとして事業委員長を任命された。

事業委員会の内容は、『ラインパウダー』・『ショッピングバッグ』・『体育の日』活性化・『JSEC』の四項目を担当することになった。

まだ発足したばかりで、詳細な推進はこれからであるが、今日までの取り組んだことを簡単に報告いたします。

①『ラインパウダー』●担当責任者 高野理事

経済的事業として、『ラインパウダー』を全国的に展開するためJSRとして商標登録申請し『無害君』の名称で取得し加盟組合の安定を図っていききたい。そのためにラインパウダーのメーカーと交渉に入っている。17年2月の全国理事長会議で販売方法を提案したい。

②『体育の日』キャンペーン●担当責任者 矢野理事

『体育の日』健康とともにボールを贈ろうキャンペーンが去る10月11日の体育の日の前に各都道府県組合が養護施設に出向き各種ボールを寄贈した。施設側から感謝の礼状が届いた。なお、不参加組合が11県もありJSR事業の一環であり今後の各種取り組みにも影響を与えることとなることが危惧される。

目標100ヶ所以上で参加組合36県、132ヶ所贈っていただきました。達成率は72%、理解度は64%、継続希望75%（27組合）

③ショッピングバッグ●担当責任者 高野理事

2004年12月現在、過去に作ったショッピングバッグがまだ在庫としてかかえている。これらを早期に販売を完了させた後で新しいデザインで製作をしたいと考えている。

④JSEC●担当責任者 町田理事

『国体・高校総体・全中』大会に関してスムーズな運営への協力していききたい。JSECの商品が素材等の表示が明記されていないものが多く、消費者からの苦情もあるので、JSECにたいして是正するよう提起していききたい。

活性化委員会



委員長 竹原 和彦

本人はそれ程意識していないのに、キラリと輝いている店があります。羨ましい限りですが、その店は時代に応じて、「売る場所」「売る品」「売る方法」を変化させて、それぞれの客に最も適した商品を提案出来る実力を持った「専門店」です。スポーツ業界をとりまく環境は、大型店やファクトリーアウトレットの進出、それにネット通信販売の拡大等と、競争は一段と厳しくなっており、まさに“冬の時代”にあります。我々は、今後どのような方法で“店の経営”の改善をはかり、生き残りの道を探れば良いのでしょうか…JSRも、又その活動のあり方で、今重要な岐路に立たされています。経済環境が悪化していて、簡単に売上げ増や利益増等がかなわなくなり、経営の拡大が困難になっています。我々の最大の課題は、そんな中にあるにもかかわらず、このスポーツ業界の再生・新生への努力ではないでしょうか…、“再生”とは、見直して改善し活性化する事にあります。今後新しい委員会として、私共“活性化委員会”は「専門店化対策」と、「組合員増強対策」とを考える事になりました。

特にこの「専門店化対策」につきましては、武宮理事、町田理事、服部理事が中心となって、大型店の進出する中でそれぞれの個店による個性的な自助努力を促して、専門店化への理解を求めて参ります。又、その個店の自助努力に加えて、JSRの組織としての努力のあり方も研究しなければなりません。各種目別の専門店の方法の研究をしながら身近な例を示して、生き残りのためのヒントを共に考える場が出来ればと思っています。今、全国各地で大型店の進出に対する「専門店としての我々の姿勢」が問われています。以前は、スポーツの専門店という事で客の支持を得る事が出来ましたが多様化した現在、それだけでは通用しなくなっています。つまり、より専門特化してどの競技の何の専門店かが問われるようになったのです。その商品の機能性を理解した商品知識と商品力…さらに消費者の側に立った提案の仕方…その地域での競争力が求められるようになりました。この一年皆様と共に、専門店化への方法について探って参りたいと思います。

又、「組合員増強対策」につきましては貫井理事、高野理事、尾坂理事と共に、昨年のステップに引き続き、今年も積み重ねの努力をしなければなりません。皆様のご協力をよろしく御願い申し上げます。

教育・情報委員会



委員長 門田 忠 尚

JSRの第6期が新しい組織でスタートしました。私、高知県スポーツ用品小売商協同組合理事長門田忠尚は4つの委員会の中で、教育、情報委員会という大変私には、重い役割を担当することとなりました。委員会のテーマとしましては、JSR POSレジの研究及び普及、JSR、HPの開設、総合型地域スポーツクラブへのかかわり方、ブロックスポーツ大会推進、以上4項目を協議、実施していくことになります。

平成16年11月11日の理事会において、それぞれの分野に精通しご活躍なされています滋賀県の上田善重氏、及び重森仁氏、兵庫県の矢野幸太郎氏、岐阜県の沢田基朗氏、福岡県の武宮兼敏氏にこの委員会に入っていただき、皆さんを中心に活動したいと思います。

さて、この一年急速にネット販売による影響が目立ち始めました。テニス、卓球、サッカー、そしていずれ全種目に波及するでしょう。まさに流通業における、歴史上初めて経験するスピードの構造変化です。私達のビジネスで危惧するところの、少子化や大型ナショナルチェーン問題、アウトレットモール対策、それ以上にネット販売＝（価格破壊）が大きな問題となってきました。

今、ネットでの買い物がブームなのです。いやブームではなく、ますます拡大してそれが普通の社会になるでしょう。ネット販売の影響がどこまで進むのか想像も出来ません。

又、近い将来メーカー（特に外資系）はネット直販を始めるのではないのでしょうか。私達は何をするべきか、勿論結論がでる問題ではないと思いますが、出来る範囲の情報の収集と発信をする考えです。

「変えられない社会現象は受け入れよう。

変えられることは勇気を持って挑戦しよう」
（小田全宏氏 JSR京都全国大会講演より）

JSR仲間に変えられることを探しましょう。ご協力をお願い致します。

交流委員会



委員長 小関 和 夫

去る11月11日の理事会で新委員会の担当が決定したので、交流委員会の業務と、一緒に推進する委員の方をお知らせいたします。

1. JSRレポート（竹原、重森）
2. 三層交流・他団体との交流（服部、武宮）
3. 国際交流（重森）
4. 環境問題（尾坂）
5. 無償提供・直販・FO問題（田中、矢野、尾坂）

《無償提供問題について》

この問題については、辻本理事長が再三に亘りメーカー、卸の代表の方と「販売促進活動の正常化会議」を開催するなどして、無償提供・直販を防止するための行動をなされてきました。

昭和58年2月に、日本高校野球連盟の牧野会長が全運団連石本会長宛に「野球用品無償提供の廃絶について」の文書を提出されております。その中で氏は、高校野球大会に出場するチームに対して一切の無償提供を受ける事を禁じています。

しかし巷間聞くとところによると、メーカー間のシェア争いもあり、甲子園出場決定チームに対して、バット、グラブ、スパイク等を無償提供されているように思えます。これは私共にとっては由々しき問題であるのみならず、提供を受ける純真な高校生への教育上の問題とも言わざるを得ません。ただで貰うことへの甘え、メーカーにたかる事を覚える怖さ等々。メーカーも誇りと自負を持って対処して頂きたいと思います。

今後当委員会では、野球に限らず他の競技についても、組合員の皆様のご協力を頂きながら進めたいと考えていますので宜しくお願い致します。

《FO（ファクトリーアウトレット）問題》

前回の全国理事長会に於ける討議のテーマにもなり、地域によって温度差はあるものの、年中安売りが行われ、しかも店によっては旧製品の二重価格販売がまかり通っていることは異常であります。ドイツの組合VDSのハイツマン理事長が、ナイキ、リーボックがドイツにFOを開いて安売した事に対する手段として、全組合員に“買うな、注文するな、販売するな”とボイコットを呼びかけたのです。JSRとして流通正常化の面からもこの問題に取り組みたいと考えております。



ショウバイ考 15

いま匠売の時代

JSR顧問

安部 純平

時代の進歩で匠を失う

正月早々、古い話で恐縮ですが、昭和3～40年代の運動具屋さん、テニスガットは手張りでしたし、革の登山靴に、クリンカーやムガーといった鋌を打ちつけるのも、野球靴にスパイクを打ちつけたり、P皮を釘で取りつけたり、ユニフォームのマーク切りや、ミシン掛けに夜なべ仕事をしたり、木製野球バットの打球部分を牛の骨で締める技を教えたり、グラブの紐をはずして、グリスを裏から塗り、受球面を軟くして捕球しやすくする方法を手ほどきしたり、冬にはスキーマットの金具付けに肩を凝らせたりと、誰もが職人的技術を身につけていたものであります。

だから運動具店は誰でもやれるという商売ではなく、経済競争の安全地帯であると、今は亡き有名な評論家、大宅壮一さんが書かれたものであります。

しかし技術がどんどん進歩して、ガットも機械で張れば素人も玄人も余り差がなく張り上がり、ビブラムソールの出現で、クリンカーやムガーは殆ど不必要となり、野球靴もメーカーがすべて調整して納品してくれる、バットは金属製となり、グラブも油入れはメーカーで行って、運動具屋さんの手をかける事がなくなり、スキーマットの金具付けやチューンナップも大手の特定の店以外は扱わなくなり、ゴルフクラブなども並べて売っただけという時代になってしまいました。

技術が進歩するごとに、運動具屋さんから職人さんがいなくなってしまったのです。

お店の人は、何の技術を持たなくても、メーカーから与えられた商品知識や、セールストークを覚えておれば、結構売れる時代になってしまったのです。こうなると競争の質が変わってきます。

異業種からの参入も容易となり、資本の力が売上を左右するという時代になってしまったのです。

技術の進歩が、職人・匠（たくみ）を運動具店から追い出してしまい、腕力の強い企業が伸びるという事態を招いたわけです。

小が大に伍すために

競争に耐えて、生き続けるために、中・小の運動具店ではどうすればよいか、真剣に考えねばならないと思います。

さいわい、新しい匠の必要性に気付いて、その養成を始めようとする動きもでてきています。

前号のJSRレポートの「張人」プロジェクトの話などは、優れたストリンガーを育てようという非常に有意義な企画であり、またシューフィッターという、個々のお客様にピッタリ合った靴を調整できる腕前の技術者を育てようという動きもあります。

商品の間口を狭めて特化すれば、専門店として生きられるかといえば不可であります。

そのうえに、特化した商品について匠の技、職人の腕前があって、お客様に満足がいただけるサービスを提供出来る必要があります。

チームスポーツで、そのチームの個性を引き出すユニフォームをデザインできたり、より相応しいマークを考えたりするセンスも、匠の技として有望であります。

また、①.商品知識に詳しく、②.商品の良い点、悪い点両方を教えることができ、③.用具の使用法や技術的なことを説明することができ、④.体格やキャリアに応じた、適切な用具をすすめることができ、⑤.そしてアフターサービスに気軽に応じられるという接客の腕前も、職人の技、匠の仕事であります。

小が大と伍して生き続けるためには、何らかの職人の腕、匠の技を売らねばならないと思います。

いま時代はまさに匠（しょう）売の時代ではないでしょうか。



甲 政 夫

元 石川県運動具商
工業協同組合副理事長
(株) かぶとやスポーツ会長

6階建てのビルの大きさに圧倒されながら店内に入ると、2階の売場から、会長の甲政夫氏が足ばやに階段をおりて来られた。今年87才を迎えられるというこの方の仕事場は2階の野球用品やテニス用品の売り場である。独特のこやかな笑顔で、お客に話しかけられる、その姿は、とても年令を感じさせられない程若々しくて元気である。お客の相手はもちろんだが、陳列をしたり、スパイクの鉋を打ったりテニスのガット張りの作業等をされて、今でもお店の大きな戦力となって居られる事がよく分かる。奥様もその側で陳列のお手伝いや掃除をされていて、お二人が生き生きとして、お元気なもの、きっと昔から続けてこられた変わらぬペースのお仕事ぶりにあるのだろう…

よく笑われ、お声も大きくて、つつい話しかけたくなるような明るい雰囲気を持って居られる。

「私は、体力の続く限り、店の手助けをして、接客もしたい…」と力強く言われるが、又、「私は、この業界では、おそらく、北陸3県では、最高齢でしょう…」と、嬉しそうにおっしゃる、300m程の距離にあるご自宅から、毎朝9時に出勤し、夜の7時半まで年中無休でのお勤めが一番の健康法だと言われる。

人事を尽くして天命を待つ

今の平和な幸せと比べて戦後の苦労は、大変なものだったとふりかえられた。

南太平洋の連合艦隊の基地であるトラック島の守備防衛に2年間従軍し、米軍のB29大型機の昼夜分たぬ猛爆に耐えて、それこそ九死に一生を得て昭和21年1月31日引揚基地浦賀港に生還されてその時に目にしたのは一面の焼け野原であったそうである。荒れ果てた祖国を見てこれから日本はどうなっていくかという不安と自分はどうかすれば良いのかと混乱した頭の中で自問自答し、苦しんだと言われる。氏は入隊時は京都の武道専門学校を卒業して静岡県立浜松工業学校の教師だったのが、招集と敗戦で、人生は一変し、復職の道も絶たれて試行錯誤の上、たどりついたのは、全く経験のない商売の道であった。昭和22年、かぶとやスポーツを創業されたが、武家の商法で失敗の連続で、貯えも底をつき、自暴自棄になる事もあったそうだが、自分が無事に故郷に生還出来たのも、

きっと「世の中のためにもっと尽くせ…」という神の試練だと反省されて、他力本願の今までの邪念を一掃し“人事を尽くして天命を待つ”という心境になれたという。

人間、万事塞翁が馬

当時は宅急便もなくリュックや大型トランクでの輸送という自力搬送のみで頑張られ、大阪への仕入れには、客車に入るのに窓から入ったり、機関車の先端にまで乗った事もあったそうである。昭和25年頃だったそうだが、ある日突然警察が命と頼む皮製のグローブや鞆類を根こそぎ没収し、生活の糧を奪われてしまい、目の前が真っ暗で、路頭に迷う思いをされたという。何でも規制取り締まりの暗黒の時代でメーカー、問屋、小売店等がその余波で倒産続出の時代であったという。本格的にスポーツ専門店として営業出来るようになったのはスポーツ熱が高まりつつあった東京オリンピック開催の数年前だったようである。

しかし、その当時は店舗もバラック建てで、地の利も悪くて、車もなく、ただ生きるために家族が力を合わせて無我夢中であつたと、ふりかえられる。「夢を見る事の出来ない者は、明日を生きる力がない」というソラーの名言を愛し、人生訓として、たえず希望を持ち続け、天命を待つという姿勢を通されてきた。もちろん好きな言葉は、「人間万事塞翁が馬」だと言われる。

人は石垣、人は城

昭和55年1月に能登の中心地である七尾駅前土地を求めて、念願の6階建てスポーツビルを開店する事が出来たが、当時、七尾市では最も高いビルであった。屋上からはJR七尾駅を始め、七尾市役所や七尾港等、市の全体が今でも一望出来る。

一時期、多店舗展開が流行したが掌握管理面でリスクが大きく結果的に失敗、縮小の例もあり、本店一店に外商3名店内8名という布陣で営業を続けてこられたのである。氏は今後の経営方針として「地域のスポーツ振興に努力し、店のレベルの向上に努め地域の人達と、もっと密着した商売がしたい」とまで言われた。又、メーカー・卸サイドの強力な商品開発と宣伝等、円滑な流通を希望されたのには、驚かされたが、「年だから…」と言っている自分の姿勢が恥ずかしくなってしまう。「人は石垣、人は城ですから人材を大切にしたい…」と言われたが、私の好きな武田節の言葉に元気づけられてお店を後にした。その時のあの力強い握手が今も忘れられない。

(リポーター：竹原和彦)



地震に負けず、がんばろう!! 新潟県中越地震・ 御礼とご報告

新潟県スポーツ用品専門店組合
理事長 伊藤 章

10月23日の震災から、3ヶ月程経過いたしました。あっという間の3ヶ月ですが、長岡など被災地は新潟市の近くでありながら、道路網が寸断され、身動きが出来なかったのが当初の実情であります。しかし、10月25日新潟市内の組合役員が集まり対策準備にかかろうとした時、JSR辻本理事長から、電話を頂き、兵庫の神戸大震災の時の状況を書いたJSRレポートの関連記事のコピーをFAXして頂き、参考にさせていただきました。そして、郵便貯金に新潟県の地震対策本部の口座を開設し、辻本理事長に報告いたしました。

すると、全国の皆様から沢山のお見舞いが届き、本当にありがたく、感謝の気持ちがいっぱいでございます。

見舞金も集まり、被災地への道路も民間の車両に対して通行の解禁が出ましたので、野口専務理事と2人で被災地の皆様へのお見舞いに出かけることに致しました。

その道中ですが、高速道路も凸凹、ひび割れ、周りを見渡せば土砂崩れ、全壊、半壊の家屋、とその被害の大きなことに驚かされ、自動車に乗っていても、鞭打ちになるのではないかと思う程大変な道路でしたが、被災店12店全て廻って来ました。

1ヶ月以上経過し、組合員の被災された12店の皆

様は、どうにか開店に漕ぎ付けておられますが、来店客もなく、各学校の体育館は避難場所に使われている為、外商に出ても、商売にならないというのが、実情のようでした。

しかし、被災された皆様は皆様からの暖かいお見舞いに対して、大変感謝され、「地震に負けず、がんばります」と、元気な声が返ってまいりました。

12月28日に再度、皆様からの義援金のお見舞いを持ち、廻ろうと思いましたが、十日町、小千谷地域は、雪も積もり危険な為、全国の皆様からの尊いお見舞いは事情を電話で説明した上、郵便振込みで振り込ませて頂きました。そして、長岡の9店の皆様には、皆様からの暖かい義援金は、じかに手渡しして参りました。中越地方は雪が数十センチ以上積もり、今もまだ余震が続いて不安の多い毎日ですが、新潟県内の組合員と力を合わせて、中越を応援してまいりますので、全国の皆様、引き続き応援のエールを送っていただきますようお願い申し上げます。

義援金に付きまして、JSRの仲間初め、卸さま、メーカーさま、そして団体さまに加え、個人名でも応援くださっている方がおられます事を最後になりましたが、ご報告し感謝申し上げます。



<前列左から>

スポーツ吉岡
新潟県・理事長
大宮スポーツ

吉岡喜三郎さん
伊藤 章
大宮右而さん

<中列左から>

小林スポーツ
オオミヤ

小林早苗さん
大西 功さん

<後列左から>

スズキン
スポーツ大島
雄
アセンドスポーツ

中島信雄さん
原 栄さん
池津文雄さん
安藤秀爾さん

※写真に写っておられない被災者の方は十日町市 エビスヤ 野澤茂さん、小千谷市 海発商店 西川哲彦さん、柏崎市 北野屋・小千谷店 遠藤邦彦さん、長岡市 カネウチスポーツ 金内一郎さん以上の4人の方々です。

ボランティア活動の毎日

長岡市（オオミヤ）大宮右而

この度の「中越地震」に際しましては、全国の皆様から大変心のもったお見舞や励ましのお言葉を頂き、厚く



御礼申し上げます。私共の被害額は店舗で150万円自宅で100万円でしたが、人的な被害がなかった事が何よりでした。発生後30日間はある会の災害対策本部の責任者として、ボランティア活動の毎日でした。山古志村、川口町、小千谷市、十日町市、見附市、栃尾市、長岡市と被災の大きかった地域の現場に物資を届ける作業を致しましたが大変な惨状です。現在は全村民（2,300名）が、長岡に避難してきている山古志村の人達の復興へ向かってのお手伝いを行っています。

商売においては、二次被害ともいえる購売力の低下で著しい売上げのダウンです。又、市内のスキー場が、今期開業出来ず、ウィンター用品にも期待は出来ません。大変厳しい状況が続くことは覚悟致しています。「震度7、それでもわが大地を愛す！」と言って、復興に向かっての山古志村の人達の強い決意を見習って頑張って参ります。JSR辻本理事長様をはじめ各県組合の皆様、メーカー様、問屋様に、心より感謝申し上げます。

「負けてたまるか！やるぞー」

長岡市（スポーツ吉岡）
吉岡喜三郎

この度の中越地震に際しましては、励ましや、物心両面にわたり過分のお見舞を賜り、誠にありがたく御礼申し上げます。10月23日（土曜日）PM5時56分、ドスンと下から突き上げた瞬間に電気が切れて、それから横揺れグラグラ、店内の棚が倒れました。幸いにもお客様はなくて、私と家内それに外孫（10ヶ月）の3人は、暗い中外に出て、2回目の余震の時、1階奥の部屋の祖母を連れだしホッとした時、3回目の余震でした。新潟地震よりはるかに大きいもので背

筋がゾーとし、これからどうなるの？…

幸い商品の破損等は少なく、3日後に電気と水が入りやがて店の再開…しかし売上は0円…それが4日も続きショックでした。商品を始めて初めての経験かも知れません。地震の3日後、後片づけにかけつけてくれた新潟営業所M社の差し入れてくれたカップラーメンは超美味しかった…その後A社の新潟担当のTさんからのカップ味噌汁（とん汁）のあまりの美味しさに涙が出ました。その他多方面からも励ましを頂き、涙・涙・感謝一杯です。初心に戻り1から出直します「まけてたまるか！やるぞー！」

不安の日々

長岡市（スポーツ大島）原 栄

先般は御見舞を頂きありがとうございました。皆様方の励ましの気持ちを心より厚く御礼申し上げます。私だけでなく、中越地震で被災された方々はまだまだ気持ちにも不安の日々があると思いますが、気持ちを切り替えて頑張っていきたいと思っています。今後共よろしく御願い申し上げます。

多難な年

長岡市（アセンドスポーツ）安藤秀爾

この度の10月23日の中越地震に際し、皆様方から暖かいご支援を頂き、厚く御礼申し上げます。発生時は運転中でしたが、幸いにも追突事故を免れ無事でした。店舗は商品の散乱や棚類の倒壊など手の施しようがない状態でしたが、メーカー、問屋さん等、各方面からの応援を頂きまして、なんとか整理を致しまして、5日目に営業を再開致しました。自宅も壁、タイルなどのひび割れ程度の一部損壊で済みました。今年は各種の災害が発生し、その恐ろしさを痛感させられた年でした。400年に一度といわれる7月13日大水害に始まり、夏の猛暑…台風被害そして追いうちをかけるように今回の震災でした。わづか3ヶ月の間に、生涯忘れることの出来ない経験を致しました。今後これらの貴重な体験を糧にこれからの人生を歩んで行きたいと思って居ります。

開店休業の毎日

長岡市（スポーツ大西）大西 功

この度の中越地震にあたり、御見舞金を頂き厚く御礼申し上げます。お陰様にて私共の店舗は、地盤のしっかりした地域だったようで、被害はほとんど皆無の状況でした。ただ別棟住居3階は、部屋の中の全部が、倒れるものは倒れて足の踏み場がない程でした。電気・水道・ガス等はオールストップでして余震は続き、ご近所の方々と共々、PM9時過ぎ避難所へ向かいました。月がさえてひえびえとした夜でした。次の日帰宅しましたが、壁のひび割れ、タイル落ち、セメントのクレツ等々、見わたせばきりがありません。余震続きで腰も座りません。従業員の家も、一人半壊の憂き目に会い今も大変な思いをしているようです。店は開店休業の有様ですが各種スポーツ大会はもちろん全部中止となっていて二次被害とでも言いましょうか…大きな痛手となっています。今後共皆様方の御支援をよろしくお願い申し上げます。

プラス思考で精進

十日町市（エビスヤ）野澤 茂

この度有史以来、はじめてと言われる「中越地震」に際しまして、全国各地の同業者の皆様はじめメーカー、問屋さんには、言葉に表せない程、物心両面にわたり御支援頂きましたこと誠にありがたく御礼厚く申し上げます。又、県スポーツ組合の伊藤理事長さんには、わざわざお見舞金をお届け下さいまして感謝致して居ります。



新潟県は7月下旬、台風18号により、三条地区では床上・下浸水等、相当の被害を受けました。10月23日、突然震度7の直下型本震があり、さらに震度5以上の余震が1時間に10回という恐怖の一夜が始まりました。

豪雪なんか当たり前の当地方は、台風、水害や地震とは全く無関係でしたから、他人事のようで、何の備えもしていない市民は、オロオロして右往左往し、パニックは更に続きました。真っ暗な街中、水道はストップして、公園やグラウンドはテントと車…そして人・人・人…

私共の店の本社前の大ウインドガラスや、シャッターの壊れたシーンが、いち早くNHKで全国に発信されました。被害の程は本社が一番大きく、赤紙（キケン）が張られています。解体も検討中ですが、何しろウィンター商戦中で、今春以降の課題となります。他の2店舗も同様の痛みですので、住宅も含めまして、今豪雪の時期を迎えて居りますので雪の重みも考えますと不安で心配の種です。営業の再開は、3店共一週間前後でしたが、当然の事ではあります。生活優先で、開店休業が現在も続いて居ります。

しかし、一日も早い復旧と将来に向けての復興を期待し、「がんばろう十日町！」を合い言葉にプラス思考で精進致します。実は震災以来、一度もスーツを着る事もなく、連日作業着姿で後片づけに追われる今日近頃です。2009年には国体、2008年にはインターハイも予定されています。夢と期待をもって頑張り、早く体制を整え皆様をお迎えしたいと思っています。

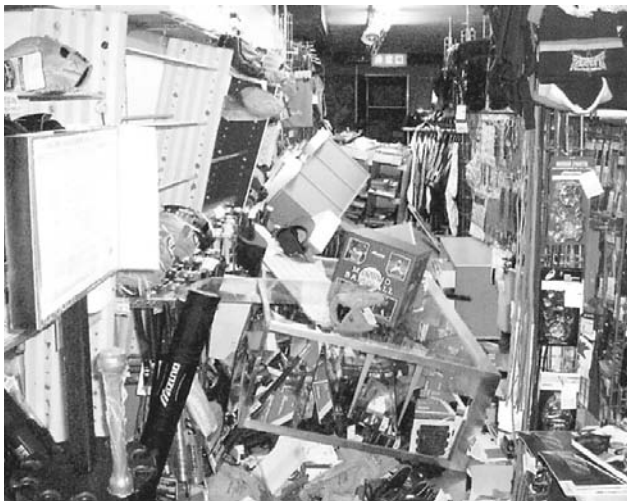


スキー板が全部横だおし

長岡市（カネウチスポーツ）
金内秀一郎

過日は過分の御芳志を頂き恐縮でした。この度の大地震は、数百年に一度という大地のうねりとも言われていますが、何本もの活断層が走っているのです。10月23日夕刻の本震に続き震度6弱の余震が何回も起きていたという特異現象にあります。私共家族にケガもなかったのは、不幸中の幸いでした。

私共の店の1F2Fの商品が散乱しまして一時は、足の踏み場もない有様でした。季節的にも、スキー用品がメインとなって居りますが、壁面に陳列してあるスキー板は全部横だおしとなりましたが、数日間はそのままにして、居住部分の3F、4Fの、飛散した物や破損した家財の整理と後片づけに追われました。ライフラインの復旧の御陰で、車中一泊だけで、余震の続く中でしたが、自宅の3Fで以後生活する事が出来るようになりました。出入りのお客様より山古志村の人達が高校の体育館に避難されている事を聞き、カイロや暖をとる衣類、栄養ドリンク等思いつくままにバッグに入れて届けて、御互いに励まし合いました。日一日と、余震の少なくなる事を祈りながらの毎日でした。本来ならば取扱商品の性格上最盛期に入っているはずですが、今の周囲の状況からして、長岡市内のスキー場や山古志村のスキー場、それに小千谷も近隣のスキー場も、施設がどこもダメージを受



けています。生活基盤が優先されていますから、困るときはお互い様の心意気をもって希望の明日に向かって努力致したく思っています。理事長様を始め皆様の励ましに感謝して“不退転”で逆境を乗り越えたく思います。今後共よろしく御指導下さいます様お願いします。

義援金に元気づけられて…

長岡市（スポーツショップスズキン）
中島信雄

先日は長岡まで来て頂き、義援金を持参して貰いありがとうございました。今回、御見舞金を頂いて、本当に元気づけられました。いまだに余震が続いていますが、店舗も本震から10日目後で再開店をする事が出来てホッと致しています。しかし街も周囲もまだまだ復興には程遠い状況ですが、あきらめないで元気を出して頑張りたいと思っています。大変な状況の中でしたが、皆様からのあたたかい御支援でお見舞金を頂きどんなに力づけられたか知れません。厚く御礼申し上げ感謝申し上げます。

車がブロック塀の下敷

柏崎市（北野屋）遠藤邦彦

この度の中越地震に際しまして、JSR各県組合や、メーカー、卸の皆様から、早速お見舞を頂き、誠にありがとうございました。私共の小千谷営業所は本町通りに面しており、テレビなどに報道された倒壊の店舗とは20m程しか離れておらず震源地の恐ろしさをまざまざと実感致しました。営業所はおかげ様で、商品が棚から落下しましたが、散乱しただけでした。又壁紙等のひびが入りましたが大事に至らず、建物の判定も、ブルーの紙をはられる程度でした。しかし営業所の契約駐車場のブロック塀が、全体的に倒れてしまい、その下敷になって2週間ほど搬出出来ない状態になりました。営業は、開店休業の状態が今だに続いているのが実体ですが、今は、社員一同で力を合わせて小千谷の営業所の穴埋めに奮闘致して居ります。



「愚痴を夢に」

重 森 仁

滋賀県（株）重森スポーツ代表取締役

J S R 理事

あけましておめでとうございます。員外理事としてJ S Rの理事の仲間入りをさせていただきました。若輩者で、微力でございますが、「愚痴を夢に」をモットーに頑張りますのでご指導賜りますようお願い申し上げます。

さて、私たちを取り巻く状況についてですが、厳しさは増すばかりです。中でも、大型店の攻勢は私たちを葬ってしまうかのようです。袋の中に放り込まれ、その口紐にシューレースストッパーを付けられ、怪物たちにじわじわと締め付けられているかのようです。息苦しさを覚え始めた今日、共に団結して押し返さねば行き場を失ってしまいます。

にもかかわらず、悲しい現実直面することが多々あります。原価を割った入札、止まることを知らない値引き合戦、他人の家へ土足で入り込んでいく身勝手販売…。やめましょう、こんなこと。仲間を踏み台にして生き延びても、それはつかの間の勝ち組になった幻覚に過ぎないでしょう。その先、大型店の餌食になることは明らかでしょう。あたかも食物連鎖を手助けしているかのように。今、団結して外に目を向ける時でしょう。私たちが、地域密着の販売スペシャリストとして自らを鍛え、ともに手を取り合うことこそ、大型店に厄介な存在に映るはずです。

折しも、私が属する卸の〇〇〇会（かかる会是一般には懇親目的が多いのですが）が「大型店対策」を柱に据えた事業委員会を作り、戦う〇〇〇会へ変身しようとその一步を踏み出すことになりました。その設立準備委員会のトップとして知恵を絞れとの命、「愚痴を夢に」変えるチャンスを得たりと前向きに考え、お受けすることにしました。

そこでは、主として、次の2つの課題に取り組みます。

1つは大型店と一線を隔した商品作り、およびその販売方法を具体的に追求します。地域に密着した私たちの商売には、それにふさわしい商品と接客があると考えます。企画から生産、プロモーションから販売、そして最後の一品を売り切るところまで積極的にかかわっていきたいと思います。メーカーの方にも協力いただきながら納得できる商品群を作り上げていきます。

もう1つは販売におけるルール作りといひますか、ある種の時代に即応した商慣習の再構築です。せっかく思い通りの商品が出来上がり、綿密な販売計画が立てられても、仲間うちで、乱売合戦や不当な値引き競争に陥っては水疱に帰してしまいます。お互い、仲間を尊重しあい、お客様にも末永く喜んでいただくための販売ルールを作り上げます。さらにそれを守っていく環境もあわせて整備していきます。

これらの2つの課題は〇〇〇会だけのものではありません。JSRにとっても、避けて通れない重要なものと私は考えます。

球をどんなにきちんと並べても、隙間は必ずできます。そして、球の半径が大きくなるほど、その隙間は大きくなります。大型店がどんどん巨大化するなか、私たちが生きる隙間も場合によっては、大きくなるかもしれません。今こそ、JSRの旗の下、全会員が一致団結すればシューレースストッパーの締め付けを止めることができるかもしれません。仲間同士の争いを止め、地域に密着した販売スペシャリストの大強力集団を目指そうではありませんか。私の挑戦が、皆さんと共に始まったことを、新年早々御報告でき、とても幸せです。



「独創の技術と最高の製品を目指して」

ヨネックス株式会社

常務 米山 勉

ヨネックスの社訓は「独創の技術と最高の製品で社会文化の発展に貢献する」です。この理念の下、昭和21年の創業時から物づくり一筋に歩んで参りました。

スポーツ用品全般が製造コストの安い中国や東南アジアに生産拠点を移す中、ヨネックスは、世界のトップ選手が使う最先端のラケット、ゴルフクラブ、スノーボードをはじめ、その多くを新潟の生産本部（新潟県三島群越路町）で生産しています。

10月23日午後5時56分、新潟県は震度6強の激震に襲われました。越路町は震源地に近い小千谷市から山一つ隔てた所で、直線でわずか4kmほどの至近距離にあります。家屋は至る所で倒壊し、新潟工場は未曾有の損害を受けました。



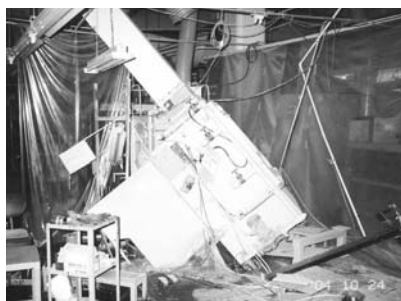
工場周囲

工場の建物周辺は地面が押しつぶされたように深い亀裂が走り、大きな陥没や地崩れが生じるなど、地震の凄まじさを見せ

付けられました。工場の建物自体は3メートルの積雪でも崩れないよう設計されており、幸いにも外壁のひび程度で倒壊は免れましたが、その内部は惨憺たる有様でした。

数百キロの重量がある塗装用のロボットが倒れ、排気装置やベルトコンベアの損傷、あらゆる照明器具の落下など、いずれも壊滅的な状態でした。加えて水道・電気・ガス・電話といったライフラインも寸断。社員の自宅の損害も甚大であり、余震が続く中、社員の多くは体育館での避難生活や、自動車での寝泊まりを余儀なくされました。

震災直後は、少なく見積もっ



工場内部



線路がぐちゃぐちゃ

てもひと月以内の操業再開は考えられない状態でした。ただ、ヨネックスには工場が全焼したにもかかわらず、3日間で立て直したという歴史があり

ます。この危機的な状態に直面しながら、「ピンチをチャンスに変える」という、その「ヨネックスイズム」は今も脈々と生きていたのです。

一夜明けてから復旧に向けた作業が開始されました。多くの社員が避難所生活にもかかわらず連日にわたり工場へ通いつめ、粉々の照明器具をかたづける者、崩れ落ちた重い設備を運び出す者、機械設備の点検・修理に奔走する者、何日間も入浴もままならない女性社員でさえ、埃にまみれながら一日も早い操業再開のために懸命な努力を続けてました。

一方、東京の本社においてもすぐさま、緊急対策本部を設置、まずは新潟地区でヨネックスを支えていただいている販売店様の被害状況の確認と救援活動のため営業担当者を現地に派遣。更に防寒ウェア、タオル、ソックスの他、生活必需品など考えられ得る全てのものを販売店様並びに社員、地元町村へ送らせていただきました。

こうした全社員一丸となった復興への思いは最後まで遅れていたガスの復旧と同時に、激震からわずか10日後の11月2日、操業再開という形で実を結ぶことが出来ました。最も懸念していた商品もほとんど切らすことなく、お客様にご迷惑をお掛けせずにご済んだことが何よりも幸いでした。

昨年はこのような大震災や大水害、更に観測史上、類を見ない天候不順に見舞われた一年となりました。その影響からか景況感は後退し個人消費の低迷は世界的な規模にまでに拡大しております。しかしながら、ヨネックスは社員一丸となって苦境に挑み、乗り越えていくことの大切さを身をもって体験することが出来ました。

このことを糧として今後ともお客様にご満足いただける「独創の技術と最高の製品」により磨きをかけて努力を続けて参る所です。

末筆になりましたが、皆様より頂戴いたしました暖かい励ましは社員全員にどれほど多くの勇気と元気をいただいたことが計り知れません。お陰様で復興に向け、全速力で邁進する事ができました。改めて厚く御礼申し上げます。



ウォーキングの「通年基地」 をつくりませんか？

(株)ナガオカスポーツ

代表取締役 清水 誠 — (JSR副理事長)

「この一年に行った運動やスポーツは何ですか？」の問いかけに対して、38種目の中で34%を占めて第一位となったのが、ウォーキングでした。又、今後やりたいスポーツの第一位も、ウォーキングで、36%を占めている事が分かりました。これは、20才以上の方を対称としたものですが、30才代でも、29%と人気が広がっていますし、60才代ですと、急成長して43%にもなっています。この様にウォーキングは、私共スポーツ店にとりまして、今後最も、注目しなければならない種目ではないかと思います。そこで、皆様も健康のために、まず歩く事から始めては如何でしょうか…。自然の中で歩く事の楽しさを感じられればしめたものです。そこから道が始まります。店の中にウォーキングコーナーを作られ、シューズやウェアをならべてみて下さい。そして、更にもう一歩ふみこんで、ノートを一冊用意され、皆さんの御店の中に、ウォーキングの「通年基地」の設置を考えてみられたら、どうでしょう…。

そのノートには、日時と御名前、御住所を記入して頂き何キロのコースの選択かを明記します。早朝ウォークのために、店の外に箱を置いて、地図を置き、ノートに御名前や御住所を記入して頂けるように致します。

次に、御店から歩いて5キロ、10キロ、20キロというような、ウォーキングコースを作ってみませんか…。「ここが一番」というコースづくりを考えられ企画されますと、その完成のために、各県のウォーキング協会の方達が、御手伝いし、いろんな協力もしてくれるものと思います。

このコースづくりをする事は、非常に勉強にもなりますし、商売に対する意欲にもつながりますから、やり通して頂きたい大切な事です。このコースづくりが出来ましたら、それを日本ウォーキング協会に届け、それに対してOKが出ましたら、公認コースとして認められる事になります。やがてその新しいコースの事を「歩け歩け新聞」等で紹介し、各県協会所属のウォーカー達に、新しい通年基地として知らせてくれる事になります。御

店が駅前とか、バス停から歩いて10分～15分以内ですと、ウォーカーにとりましては便利ですし、ベストではないでしょうか…。いつもウォーカーの方達は、地球一周（4万キロ）という目標を持って歩いていますから、御店が基地になりますと、元気なウォーカーが来店されるきっかけにもなりますので、きっと皆さんの御店にとしまして更に活気を作ってくれるものと思われれます。年間多い基地では1000人から1500人ものウォーカーが来店されて居ます。

私共の店の場合、6年前になりますが、本店の近くに「ウォーキングショップ」の専門ショップとして、『ナガオカDO』をオープン致しました。ウォーキングの通年基地として2002年に838人でしたが、2003年には1260人、2004年は1600人以上という風に御来店を頂く事が出来ました。

私は、その方達が、来店されゴールされますと、必ず「お帰り！」と大きな声で声をかけることにしています。彼らは「今日は寒かった！」とか「あそこの花がきれいやった！」とかいろいろ話をされます。時には店内にある商品のことで、いろんな説明を受けることもあります。その方達と色々な話をする事によって、元気を頂いているのかも知れません。帰られる時にはいつも自然と「気をつけてね！」という言葉が出てしまうのです。その時「また来るヨ！」という言葉に、ホッとした気持ちと満足感でいっぱいになってしまいます。人生の毎日の楽しみは、この様に、ほんの小さなきっかけから生まれるものかも知れません。どうぞまず歩き出してみてください。そこから新しい道が、始まります。通年基地の件やウォーキングのことで何でも御相談下さい。

●「ナガスポDO」(担当・清水)

京都府長岡京市長岡2-1-1

(TEL) 075-952-1800 (FAX) 075-955-1414

●日本ウォーキング協会

東京都千代田区神田小川町3-2-20

(TEL) 03-3295-1002 (FAX) 03-3295-1003

2003年 世界スポーツ用品小売ベスト71

順位	社名	国	売上・米国ドル (単位：100万ドル)		各国通貨	売上・各国通貨 (単位：100万)		
Rank	Retailer	Country	2003	2002	Currency	2003	2002	Change
INTERNATIONAL BUYING GROUPS (共同仕入機構)								
	Intersport International	Switzerland	\$8,079	\$6,467	EURO	7,150	6,893	4%
	Sport 2000 International	Germany	\$4,039	\$3,139	EURO	3,570	3,331	7%
RETAILERS (小売)								
1	Foot Locker (A)	USA	\$4,779	\$4,509	USD	4,779	4,509	6%
2	Decathlon (1)	France	\$4,228	\$3,190	EURO	3,742	3,384	11%
3	The Sports Authority	USA	\$1,760	\$1,427	USD	1,760	1,427	23%
4	Bass Pro Shops	USA	\$1,600	\$1,100	USD	1,600	1,100	45%
5	Dick's Sporting Goods	USA	\$1,471	\$1,273	USD	1,471	1,273	16%
6	Cabela's	USA	\$1,392	\$1,225	USD	1,392	1,225	14%
7	Alpen (2)	Japan	\$1,332	\$1,214	YEN	154,371	152,109	1%
8	Karstadt Quelle (2)	Germany	\$1,311	\$1,125	EURO	1,160	1,194	-3%
9	JJB Sports	U.K.	\$1,192	\$1,135	GBP	727	757	-4%
10	L.L.Bean	USA	\$1,150	\$1,070	USD	1,150	1,070	7%
11	Academy Sports	USA	\$1,050	\$925	USD	1,050	925	14%
12	Pacific Sunwear	USA	\$1,040	\$846	USD	1,040	846	23%
13	The Finish Line	USA	\$986	\$757	USD	986	757	30%
14	Groupe Go Sport(5)	France	\$845	\$706	EURO	755	750	1%
15	R.E.I.	USA	\$805	\$735	USD	805	735	10%
16	Xebio	Japan	\$791	\$708	YEN	91,718	88,748	3%
16	Forzani (A)	Canada	\$791	\$672	CAD	1,108	1,053	5%
18	John David Group	U.K.	\$751	\$556	GBP	458	371	23%
19	Big 5 Sporting Goods	USA	\$710	\$667	USD	710	667	6%
20	Galyan's (B)	USA	\$691	\$598	USD	691	598	16%
21	Sports World (former Sport Soccer)	U.K.	\$659	\$596	GBP	440	398	11%
22	El Corte Ingles (2)	Spain	\$518	\$405	EURO	458	430	7%
22	Cisalfa Sport (A)	Italy	\$518	\$360	EURO	458	382	20%
24	Modell's (B)	USA	\$510	\$490	USD	510	490	4%
25	Gander Mountain	USA	\$489	\$357	USD	489	357	37%
26	Journey's	USA	\$469	\$436	USD	469	436	8%
27	Canadian Tire (2)	Canada	\$468	\$390	CAD	655	610	7%
28	Stadium	Sweden	\$444	\$354	SEK	3,630	3,450	5%
29	Sport Eybl & Sports Experts (A)	Austria	\$436	\$403	EURO	390	380	3%
30	Blacks	U.K.	\$418	\$327	GBP	255	218	17%
31	Gresvig (A)	Norway	\$379	\$350	NOK	2,698	2,800	-4%
32	Sport-Scheck(A)	Germany	\$365	\$304	EURO	323	323	0%
33	Allsports	U.K.	\$331	\$238	GBP	202	158	28%
34	Hibbett (B)	USA	\$321	\$279	USD	321	279	15%
35	Hervis Sport (3)	Australia	\$313	\$239	EURO	280	254	10%
36	Joshuya	Japan	\$308	\$383	YEN	35,699	47,939	-26%
37	Victoria	Japan	\$286	\$310	YEN	33,100	38,000	-15%
38	Himaraya	Japan	\$271	\$273	YEN	31,367	34,230	-8%
39	Dunhan's (B)	USA	\$268	\$250	USD	268	250	7%
40	Migros (includes Globus) (2)	Switzerland	\$267	\$193	CHF	360	300	20%
41	Sport Chalet	USA	\$264	\$237	USD	264	237	11%
42	Golfsmith	USA	\$258	\$220	USD	258	220	17%
43	Play It Again Sports	USA	\$245	\$257	USD	245	257	-5%
44	GSI Commerce	USA	\$242	\$155	USD	242	155	56%
45	Ochsner	Switzerland	\$230	\$160	CHF	310	250	24%
45	Manor Group	Switzerland	\$230	\$160	CHF	310	250	24%
47	Scheels	USA	\$225	\$215	USA	225	215	5%
48	Niki Golf	Japan	\$216	\$185	YEN	25,001	23,215	8%
49	Gracomelli Sport (3)	Italy	\$212	\$296	EURO	188	314	-40%
50	Copelands	USA	\$220	\$225	USD	220	225	-2%
51	Sportsman's Warehouse	USA	\$200	\$188	USD	200	188	6%
51	Edwin Watts	USA	\$200	\$200	USD	200	200	0%
51	Hat World	USA	\$200	\$160	USD	200	160	25%
51	VIM	USA	\$200	\$190	USD	200	190	5%
51	Dr. Jay's	USA	\$200	\$190	USD	200	190	5%
56	Minami	Japan	\$198	\$200	YEN	23,000	25,000	-8%
56	Rebel Sport	Australia	\$198	\$133	AUD	305	244	25%
58	The Sportsman's Guide	USA	\$195	\$180	USD	195	180	8%
59	Royal Sporting House	Singapore	\$194	\$154	SGD	330	276	20%
60	Murasaki	Japan	\$191	\$191	YEN	22,100	23,900	-8%
61	Bob's Stores	USA	\$165	\$175	USD	165	175	-6%
62	GI Joes	USA	\$155	\$146	USD	155	146	6%
63	Honma Golf	Japan	\$150	\$150	YEN	17,410	18,826	-8%
63	MC Sports	USA	\$150	\$140	USD	150	140	7%
65	Jimmy Jazz	USA	\$145	\$140	USD	145	140	4%
66	Olympia Sporting Goods	USA	\$135	\$125	USD	135	125	8%
67	Road Runner Sports	USA	\$130	\$120	USD	130	120	8%
68	Takamiya	Japan	\$129	\$126	YEN	14,987	15,842	-5%
69	Zumiez	USA	\$120	\$115	USD	120	115	4%
70	Eastern Mtn. Sports	USA	\$105	\$98	USD	105	98	7%
71	Golf Galaxy	USA	\$100	\$95	USD	100	95	5%
TOTAL			\$42,515	\$36,701				16%

摘要 データはすべて2003年12月31日時点 通貨換算 (OECDレートに基づく)

- (1) イタリア、ドイツ、ベルギー、スペイン含む
- (2) スポーツ用品のみの売上げ
- (3) スペイン、ポーランド他含む
- (4) フットアクション、ジャストフォーフィット含む
- (5) ゴースポーツとクーリエ含む

JSRの

なんでもベスト5



福岡県スポーツ用品協同組合
理事長 竹原和彦

自動車の販売台数で、トヨタの第一位は分かるのですが、さてその次の第二位や第三位は、どこだったのだろうか、と考えるしまうような事はありませんか…、皆様のお店は、その地域で例えば、野球やテニスの売上は何番目なののでしょうか…又、それぞれの種目は、どの様な存在なのでしょうか…。自分の立場や位置を自覚して、新しい目標をもったり、それに対策する事も大切かと存じます。さてJSRにあって自分達の組合は、全国の中でどんな立場にあるのか御存知でしょうか…今回は、一方的な視点で、ある部分だけしか見えていませんが、JSRのベスト5として、御紹介をさせていただきます。御気にさわるような事もあるかも知れませんが、今回は新年という事で、何卒御容謝下さい。全国の組合の活動のあり方を共に考えて下さる機会になればとも思っています。

1. 組合員の数の多さ

①埼玉 ②静岡 ③福岡 ④愛知 ⑤東京

2. 組合員の数の少ない県

①鳥取 ②佐賀 ③青森 ④大分 ⑤徳島

3. 組合加盟率の高さ

①高知 ②愛媛 ③香川 ④静岡 ⑤鹿児島

4. 組合加盟率の低さ

①東京 ②千葉 ③沖縄 ④大阪 ⑤兵庫

5. 組合員の増加数（この一年）

①兵庫 ②新潟 ③福井 ④沖縄 ⑤徳島

6. 組合員の減少数（この一年）

①富山 ②東京 ③青森 ④茨城 ⑤福岡

7. 未加入店の数の多い県

①東京 ②兵庫 ③千葉 ④埼玉 ⑤福岡

8. 未加入店の数の少ない県

①高知 ②鳥取 ③香川 ④愛媛 ⑤徳島

9. 女性組合員の多い県

①埼玉 ②神奈川 ③京都 ④東京 ⑤岡山

10. 組合の創立（法人化）

①東京 ②兵庫 ③石川 ④福井 ⑤大分

11. 組合費の高い県

①東京 ②神奈川 ③福井 ④石川、大阪、和歌山、福岡

12. 組合費の安い県

①静岡 ②岩手 ③島根 ④山形 ⑤北海道

13. (JSR) PL保険加入者数

①福岡 ②茨城 ③北海道 ④東京 ⑤愛知

14. 16年度ショッピングバック購入セット数

①北海道 ②長崎 ③福岡 ④兵庫 ⑤岐阜

15. ショッピングバック購入セット数（過去合計）

①福岡 ②宮崎 ③熊本 ④長崎 ⑤岐阜

16. ライン・パウダー販売数

①神奈川 ②山形 ③岩手 ④石川 ⑤富山

17. ライン・パウダー組合取り組み順

①神奈川 ②山形 ③栃木 ④宮城 ⑤岩手

18. 「体育の日にボールを贈ろう」今年度予算額

①神奈川 ②石川 ③岩手 ④千葉 ⑤山形

19. 組合共同購入金額

①神奈川 ②山形 ③秋田 ④福井 ⑤宮崎

20. 組合総会の出席率

①福岡 ②高知 ③熊本 ④宮崎 ⑤福井

編集後記

A Happy New Year

to all our members of JSR!

2005年の新春を皆様お元気でお迎えの事とお喜び申し上げます。昨年は自然災害が多く、台風、地震等で被災の方々に心からのお見舞いを申し上げます。

◆ 今号に、新潟中越地震に遭遇なされた方々より被災の状況や、見舞いへの感謝の文が寄せられていますので増ページで特集しました。一刻も早い復興を祈念致します。

◆ スポットライトにご登場の甲様には大変な元気を頂き、有難うございました。サミュエル・ウルマンの「青春」という詩を思い出しました。

「青春とは、人生のある時期をいうのではなく、心の様相を言うのだ。

年を重ねただけでは人は老いない。

理想を失う時に、はじめて老いがくる。

人は信念と共に若く、疑惑と共に老いる。(抜粋)」

◆ JSRは法人化6年目を迎えました。盛りだくさんの事業の展開を企画していますが、皆様のご協力を頂きながら着実に実行したいものです。

(K.K.)